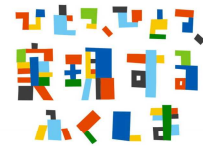


主要な農作物の生育情報

令和5年度 第7号

(令和5年10月10日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

出穂期以降の高温により登熟が進み、登熟日数は、平年並から7日短くなりました。

成熟期は、本部（郡山市）のひとめぼれは7日、天のつぶは5日、コシヒカリは12日平年より早くなりました。会津地域研究所（会津坂下町）のひとめぼれは4日、天のつぶは3日、コシヒカリは5日平年より早くなりました。浜地域研究所（相馬市）のひとめぼれは4日、天のつぶは3日、コシヒカリは8日早くなりました。

県内の刈取始期（5%）は9月18日（平年9月26日）で、収穫作業は早まっています。

表1 水稲主要品種の成熟期と登熟日数（農業総合センター）

調査場所	品 種	移植期 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本 部	ひとめぼれ	5.15	9. 6	9.13	- 7	37	41	- 4
	天のつぶ	5.15	9. 9	9.14	- 5	37	41	- 4
	コシヒカリ	5.15	9.13	9.25	-12	38	45	- 7
会 津 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5.18	9. 7	9.11	- 4	40	44	- 4
	天のつぶ	5.18	9.10	9.13	- 3	41	44	- 3
	コシヒカリ	5.18	9.12	9.17	- 5	40	44	- 4
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5.10	9. 8	9.12	- 4	41	43	- 2
	天のつぶ	5.10	9.18	9.21	- 3	50	50	±0
	コシヒカリ	5.10	9.18	9.26	- 8	44	48	- 4

注) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

【野菜】

1 秋ブロッコリー

県南と相双地方では、定植は平年並の9月上中旬に終了しました。高温・乾燥により定植後に枯死する株が見られたものの、定植後の生育は概ね順調で、収穫は10月下旬から始まる見込みです。

病害虫は、一部でヨトウムシ類が発生しています。

2 秋冬ニラ

夏季の高温・乾燥により、一部で葉先枯れが見られましたが、9月の適度な降雨により現在は順調に生育しています。10月上旬より捨て刈りが行われ、12月から収穫される見込みです。

病害虫は、さび病、アザミウマ類の発生が平年並となっています。

3 いちご

普通育苗の花芽分化は平年よりやや遅れ気味となり、定植作業は9月中旬から順次行われました。病害虫は、ハスモンヨトウの発生が平年より多く、一部で炭そ病が見られています。

4 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型は11~12段、南会津地方の5月下旬定植の作型は8~10段を収穫中で、平年よりやや生育が進んでいます。摘芯作業は平年並の9月上中旬に終了しています。県南地方では、夏期の高温・乾燥による花落ちから、着果量がやや少なく、小玉果がやや多くなっています。南会津地方では、気温の低下により着色が緩慢になっています。

病害虫は青枯病やコナジラミ類、ヨトウムシ類の発生が平年よりやや多くなっています。

【果 樹】（10月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 なし

（1）収穫期と果実品質

「豊水」の収穫盛期は9月12日で平年より5日早くなりました。果実の大きさは550gで平年よりかなり大きく、糖度は14.0° Brixで平年やや高くなりました。

「あきづき」の収穫盛期は9月21日で平年より7日早くなりました。果実の大きさは512gで平年より大きく、糖度は14.2° Brixで平年よりやや高くなりました。

2 りんご

（1）果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が86.6mm（平年比108%）、横径が91.4mm（平年比105%）で平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数による比較では平年よりも大きくなっています。

（2）果実成熟

「ふじ」の満開後165日（9月26日）における成熟調査では、果実硬度が15.2ポンドと平年並、デンプン指数は3.3と平年より低くなっています。果皮中クロロフィル含量が平年よりかなり高く、果皮中アントシアニン含量は平年よりかなり低い状況です。

※りんごのデンプン指数：指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の作型は、平年並の8月中旬から順次定植作業が行われました。一方、定植後からの高温の影響により、生育の遅延や不良が生じています。影響の強い所では、花芽分化が2週間程度遅れています。春彼岸出荷については、現在、育苗中であり順次作業が進んでいます。

害虫の発生が多く、コナガやハイマダラノメイガ、ヨトウムシ類の発生が見られています。

2 キク類

9月咲きの収穫期は平年並から遅く、一部で9月中旬の需要期に出荷できない品種が見られました。また、10月咲きの生育は平年並からやや早く、9月上旬から下旬にかけて順次発蕾を確認しています。病虫害は、一部でハダニ類の発生が見られています。

【飼料作物】

1 牧草

3番草は、8月下旬から収穫が行われています。地域によっては、夏枯れやイネ科雑草が繁茂しているほ場があり、収量は平年並からやや不良です。

2 飼料用トウモロコシ

8月下旬から収穫が行われています。生育及び品質はともに良好で、収量は平年並です。

3 W C S用稲

8月中旬から収穫が行われています。

◎ 病虫害の発生状況や防除情報については、病虫害発生予察情報（ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>